

ならちゅうしん経営研究会 例会報告

第 333 回 研究会

日 時 平成 31 年 4 月 17 日(水) 午後 4 時 ~ 午後 5 時 30 分

場 所 奈良中央信用金庫 3 階 研修室

講 師 ならちゅうしん経営研究会 第 6 代目会長
株式会社 増田化学工業所
代表取締役 増田 健 氏

テーマ 歴代会長セミナー 『出来ない……は誰でも言える。なぜ出来ないか。
どうすれば出来るかを考えろ！！』

今回の研究会は、当ならちゅうしん経営研究会第 6 代目会長（平成 23 年 7 月～平成 26 年 7 月）で現在は当会の顧問・監査役を務めて頂いております株式会社増田化学工業所代表取締役増田健氏より、ご講演を頂きました。



ならちゅうしん経営研究会 第 6 代目会長 増田 健氏 ご講演

株式会社増田化学工業所は、昭和 4 年斑鳩町でセルロイドの成形加工事業者として創業され、今年で 90 年目を数える歴史あるプラスチック製品製造会社です。「良い商品を創ることへのたゆまざる追求を行う」を経営理念に、多くの取引先の様々なニーズに応えられ

て来られました。また増田社長は、奈良県プラスチック成型協同組合の役員として、奈良県内のプラスチック成形業界の発展にご活躍されています。

増田社長は、奈良高校から慶応大学工学部を卒業された後、親族が経営されるUCC上島珈琲株式会社に勤務の後、当社に入社され、長年に亘りプラスチック製品の製造に関わって来られました。大量生産を実現する製造方法として日本の高度経済成長と共にプラスチック製品製造業は発展しました。当社も時流に乗り大手メーカーより家電製品の部品を受注し成長していきましたが、バブル経済期以降はメーカーの中国シフトにより家電製品の国内生産が減少していったため、当社の受注も減っていきました。そこで当社は、独自の金型設計提案能力と高い成形技術を活かして、『出来ないとは言わない。お客様が欲しいものを形にする』をモットーに、高い精度を求められる精密成形による機構部品の製造に業務をシフトされ、小ロット生産ながらも高い利益率を実現されています。

ご講演では、プラスチック製品の特徴や、自社製品の技術的な優位点について説明頂くとともに、当会の会員として、ほぼ創設時より関わられたことで、異業種の色々な経営者と出会い、良い刺激を受け勉強になったことなどをお話し頂きました。



自社商品について説明される増田社長

ご講演のあともプラスチック業界のこと、ものづくり技術のこと、事業承継のことなど、参加者より多数の質問が寄せられました。長年に亘り、ものづくり一筋に取り組んで来られた経験と実績に基づいたお話しは、大変参考になりました。増田社長ありがとうございました。

以上